

手話の特徴を知るためのゲームの流れ
～「にているところ」と「ちがうところ」～

1 本時の目標

手話は「手の場所」「手の動き」「手の形」の組合せで表現される言語であることが分かる。

2 授業の流れ、主な発問

(導入) 音声語の特徴について	<p>○私たちが毎日使っている(音声)ことばは音(おん・おと)の組合せで、いろいろなものを表現することができます。 例えば「あ・い・う・え・お」。これらの5文字を組み合わせると「あお(青)」「いえ(家)」「うえ(上)」「あおい(葵)」等、いろいろな単語を作ることができますね。</p> <p>○それでは「か・き・く・け・こ・た・ち・つ・て・と」の10文字を使っていろいろな言葉をつくってみましょう。 【グループでの活動または一斉指導】 (例)「柿、かけっこ、凧、土、時、口・・・・・・・・」</p> <p>○たくさんできましたね。このように、音(おん)の組合せによってさまざまな言葉を表現できるのが、話し言葉(音声言語)の特徴です。</p> <p>では、今日はこの前DVDで見た「手話」の特徴をみんなで考えてみましょう。(「耳が聞こえない大学生の日常～手話とともに～」) 手話は声を使って、相手に話をする言葉ではありませんね。DVDではどうやって相手に気持ちを伝えていましたか?</p> <p>(例)「手でお話をしていた」 「うなずいたりしていた」 「右手も左手も使っていた」 「肩をたたいたり、机をたたいたりしていた」</p> <p>○そうですね。DVDの中では大学生のお兄さんたちが手話でいろいろな話をしていましたね。今日は、手話がどうやって相手に言葉を伝えるのか考えてみましょう。</p> <p>○これから皆さんもよく知っている単語10個の手話の表現を見ます。動画があるので一緒に手を動かしてみよう。</p>
--------------------	---

動画・絵カードによる手話単語の確認

※実際のイラスト・動画は<http://shuwa-tnf.jp/movie/vol2/>にある動画・イラストをご使用願います。

① 「おかしい」

おかしい



② 「わたし」

わたし



③ 「ふしぎ」

ふしぎ



④ 「ほんとう」

ほんとう



⑤ 「うそ」

うそ



⑥ 「思う」

思う



⑦ 「もう一回」



もう一回



⑧ 「うらやましい」

うらやましい



<p>まとめ</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>⑨ 「かまわない」</p> <p>かまわない</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>⑩ 「足りない」</p> <p>足りない</p>  </div> </div> <p>【適宜、動画を止めて、模倣させてみる。できているかどうかを確認する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「不思議」の手話はどう表現していましたか？ ○ 「うそ」の手話はどう表現していましたか？ ○ 「不思議」の手話と「うそ」の手話は、似ているところがありますね。どこが似ていますか？ <p>【2つの手話を比較し、「どこが似ていますか？」という質問を繰り返す】</p> <p>子どもたちの回答例</p> <p>「わたし」と「ふしぎ」は人差し指1本というのが同じです。</p> <p>「わたし」と「うそ」は指の位置が違います。</p> <p>「思う」と「かまわない」は指が違います。</p> <p>「本当」と「もう一回」は本数が違います。</p> <p>指が止まっているのと動いているのがあります。</p> <p>班別の活動にして意見を述べさせる。また、それを発表させて、さまざまな意見に気付かせる。</p> <p>(この部分に時間をかけると、子どもならではの考えが出てくると思われる)</p>
------------	---

意見発表後、以下のような分類で黑板またはワークシートにまとめる。		
【手の場所の違い】		
あご 鼻 ほお(ほっぺた) こめかみ(頭)		
【手の動きの違い】		
当てる 小刻みに動かす 前にはねる 下に動かす		
【手の形の違い】		
人差し指 小指 親指 4本指		
<p>○「日本語が50音の組合せで単語（言葉）を作っているのと同じように手話は「手の場所」「手の動き」「手の形」の組合せで無数の単語を表すことができます。」</p> <p>○手話は指を付けるところ（場所・位置）、指の動き（はねる、動かす）指の形（使う指、本数）を変えることで、いろいろな言葉を表現することができます。</p> <p>○手話も皆さんが使っている言葉（音声言語）同様、どのようなもの事柄も表現することができる言葉です。</p> <p>○聞こえない人たちは手話を使ってコミュニケーションをしています。聞こえない人たちにとって手話はとても大切な言葉です。</p> <p>○テレビ等で手話を目にするとき、手がどのように動いているのかよく見ておいてください。</p>		

3 本時の評価

手話は「手の場所」「手の動き」「手の形」の組合せで表現される言語であることが理解できたか。